

# GK情報レポート

【2011年発行】

vol. 27

新年号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

## Contents

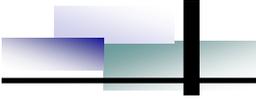
1. 新年のご挨拶 代表取締役社長 権田源太郎
2. 2011年新たな取り組み
3. カドミレス黄銅棒在庫販売について
4. GKギャラリー『第110回GK会 記念大会』
5. GK沿革『ボールパーク』
6. 相場情報『2011年第1四半期見通し』

皆様でご覧下さい。

回 覧 印										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～26）をご用意しております。ご希望の方は当社営業部までお気軽にお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社



---

## 1. 新年のご挨拶

### 卯年への期待

権田金属工業株式会社  
代表取締役社長 権田源太郎

新年明けましておめでとうございます。  
平素は格別のご高配を賜り有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

皆様今年をどのように予想されていらっしゃるでしょうか。  
今年の干支のピョンピョンはねるウサギにかけて、景気の上昇、相場の上昇を期待される方も多いようですが、これはリーマンショック以降 2 年以上たって、その後の不況の痛手も癒えつつあることがしっかりと背景にあると思います。  
私ども権田金属は、素材の提供にとどまらず加工品の提供などを通じ、引き続きお客様の様々なニーズに応えてまいります。  
マグネシウム合金 AZ61 板の販売もおかげさまで増えつつあります。また、リーマンショック以降途絶えていた大口のお話もここに来て徐々に出てまいりました。実用合金で一番軽く、人体にも無害なマグネシウムをエコロジー素材として使いたいという期待の高まりと感じております。

私ども権田金属は皆様にとってお役に立てる企業であり続けられるよう努力を続けてまいります。

品質、納期はもちろんのこと、新しい製品についてのことなど何かお困りのことがございましたら、遠慮なくお声がけを頂きたいと存じます。

今年も引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

## 2. 2011年新たな取り組み

私共権田金属工業株は下記のような取組みに注力して、取引先様とタッグを組み更なる発展を目指していきたいと考えています。

### ① 在庫の充実

足元の市場動向は、在庫の削減という方向に動いています。そこで当社は取引先様の現在そして先々のニーズ（品種・サイズ・数量・納期等）をお聞きし、その情報を当社の標準在庫品の生産に取込み、当社在庫のサイズ・量の充実・現物即納出荷の強化に注力していきます。

### ② 短納期のご要求に対する対応の強化

短納期対応へのご要求に如何に対応することができるのか？

大いなる永遠の課題です。取引先様のご予定を早めにお聞きして、短納期対応への準備を早めに行ってまいります。ピレット等の在庫を強化して短納期対応の強化に注力していきます。

### ③ 加工品の拡販強化

当社は、マシニングセンターから普通旋盤まで数多くの加工機を所有しています。またいろいろな加工のできる協力工場を多く持っています。

これらを活用して、素材の提供だけでなくいろいろな加工品にも対応できます。今年加工品の提供により、取引先様のニーズにさらに応えていきます。加工品は銅・黄銅以外に、アルミニウム・マグネシウム・ステンレス等にも対応できます。

### ④ マグネシウム合金 AZ61 板・マグネシウム合金鍛造品の拡販強化

マグネシウム合金板・マグネシウム合金鍛造品は、まだまだ需要自体が開拓されていない製品です。

多くの取引先様にマグネシウム合金の特性を説明・提案し、マグネシウム合金の需要自体の開拓・拡販に注力していきます。需要自体が増加し、物量が増加すると大量生産によるコストの低減が実現できます。需要・生産量の増加によって、多くの取引先にいろいろすばらしい特性を持つマグネシウム合金をお気軽にお使い頂けるようにと考えています。

### ⑤ グループ企業との拡販協力を強化

当社には、流通業の『横浜伸銅株式会社』というグループ企業があります。

当社は伸銅品の製造販売業者であり、製造販売品目は限定されます。

しかし横浜伸銅は流通業であり、当社が製造販売できない品目《非鉄全般・鉄等様々な品目》を取扱うことができます。横浜伸銅との協力拡販体制を強化して、取引先様の様々なニーズに細かく対応していきます。横浜伸銅は切断設備もあり、ニーズに応える切断販売もできます。

記者 吉田

### 3.カドミレス黄銅棒在庫販売について

近年、環境問題が世界的な課題となっており、環境に負荷をかけない製造方法や製品の使用が求められています。

その為、2006年7月には、特に使用を制限される6物質(鉛：1,000ppm以下、水銀：1,000ppm以下、カドミウム：100ppm以下、六価クロム：1,000ppm以下、ポリ臭化ビフェニール：1,000ppm以下、ポリ臭化ビフェニルエーテル：1,000ppm以下)の電気・電子機器における使用制限に関する欧州連合(EU)の指令として、RoHS指令が施行されました。(鉛に関しては、RoHS指令の適用除外項目として、4%までの含有が認められています。) 日本企業が欧州に輸出する製品にも、このRoHS指令が適用されています。その後、EUのRoHS指令に触発されるように各国でRoHS指令とほぼ同様の指令が施行されています。

当社では今までカドミレス黄銅棒については在庫販売はしていませんでしたが、需要家の皆様のご要望にお応えする為に、2月より下記サイズについてカドミレス黄銅棒の在庫販売を順次開始いたします。

在庫販売する品種はC3604で、カドミウムは含有量が75ppm以下です。

サイズについては、随時増やしていくつもりです。

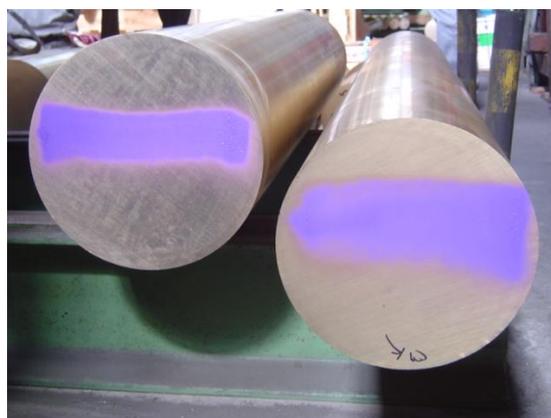
ロットは1本からお受けいたします。下記に記したのが在庫サイズですが

下記に無いサイズにも柔軟に対応いたしますので、どうぞお気軽に当社営業員までお問い合わせ下さい。

記者 高橋

#### 在庫予定サイズ

50Φ	110φ	160Φ
60Φ	115Φ	170Φ
70Φ	120Φ	180Φ
80Φ	130Φ	190Φ
90Φ	140Φ	200Φ
100Φ	150Φ	



C3604 カドミノン	化学成分(%)					
	CU	Pb	Fe	Sn	Cd	Zn
	57.0~61.0	1.8~3.7	≤0.50	Fe+Sn≤1.2	≤0.0075	残

#### 4. GK ギャラリー 『第 110 回 GK 会 記念大会』

権田金属工業(呼称GK)では、長年お取引があるお客様、ご購入先様と親睦・情報交換の場としてGK会というゴルフコンペを年に2回、開催しております。

このGK会も皆様のご協力のおかげで、昨年に第110回を迎える事ができ、その記念大会を2010年11月26日(金)箱根カントリークラブで行ないました。プレー後は仙石原・仙郷桜に宿泊し、親睦を深め有意義な時間を過ごす事が出来ました。優勝は、グロス94・ハンディキャップ13・ネット81というスコアで、新鋭産業株式会社の守田専務でした。

優勝者の守田専務に寄稿して頂きました。「守田専務有難うございます」

『歴史あるGK会、それも記念の第110回大会に優勝する事ができ、これ以上の喜びはありません。当日は最高のお天気の中、日鉱商事の丸山さん、権田金属工業の日吉さんと楽しく和やかにプレーする事が出来ました。実はGK会の前の週に他のコンペに参加したのですが、その時は気合を入れたのが逆効果だったのか、思ったよりもスコアが伸びなかったという事があり、今回は平常心で臨みました。

無欲でプレーに臨んだのが良い結果に繋がったのではないかと考えております。

他企業の皆様との情報交換ができ、非常に勉強になるGK会が、今後も10年・20年と続く事を願うと同時に、私自身も今後も出来る限り参加させて頂きたいと考えております。』

新鋭産業株式会社 専務取締役 守田良克



記者 日吉

## 5. 沿革

平成9年4月3日、権田金属工業㈱は業務多角化の中でも全く異分野のゴルフ練習場「ポールパーク」を開設しました。この計画の発端となったのは当社工場に隣接する会社による工場用地譲渡話です。結果的にこの会社から工場用地を約1,700坪買収しました。従来から所有していた遊休地1,800坪と合わせ3,500坪となり、この有効利用を検討しゴルフ練習場を設けることにしました。そのゴルフ練習場は鉄骨3階建てで、クラブハウス（約1,800㎡）と72打席、220ヤードは相模原市のゴルフ練習場としては最大規模。ポールの高さは約60mあり、天井部にはネットがないため広大なフェアウェイの開放感も満喫出来る練習場となりました。ゴルフ用品店や喫茶室もあり、訪れる人たちが「ゆっくりくつろげる」と好評です。また、1・2階の打席には最新のオートティーアップ方式を導入、3階は半自動のオートティーアップ方式にしています。88台収容の駐車場も併設しています。平成9年4月のオープンセレモニーは相模原商工会議所の会頭をはじめ地元の企業経営者、工事関係者、近隣の住民らが出席、賑やかに行われました。

権田源太郎社長はこの異分野進出について「広い遊休地を生かす上でゴルフ練習場は人材や経営ノウハウが比較的少なくて済む点が魅力だった。レジャー産業は今後なお発展する傾向にあり、製造業とは違う意味でやりがいがある。それに何よりも憩の場として地域との絆が生まれることが嬉しい」として、業務多角化の中でさらなる発展に向けた挑戦を続けています。

（終わり）

（創立80周年誌あゆみより）

## 6. 相場情報

### 1. 電気銅建値推移

10. 9月・・・660円スタート（9月平均687.5円）

10. 10月・・・710円スタート（10月平均723.5円）

10. 11月・・・700円スタート（11月平均741.5円）

10. 12月・・・750円スタート（12月平均802.6円）

11. 1月・・・840円スタート

### 2. LME在庫状況及び需給状況

LME指定倉庫在庫は2010年10月37万トン強、11月は36万トン程度と緩やかに減少している。2010年の予想された銅需要は前年比3.8%増の1,888万トン。供給もこれとほぼ同量となっている。2011年の需要は4%以上増え、2,000万トン近くになるものと予想される。その理由には、依然として高成長を続ける中国経済と北米、欧州の需要の回復が挙げられる。世界の30%の消費量を占める中国の消費量は予想以上に増加し、2010年から2011年にかけて6%伸びて、約770万トンになる見通し。

一方、供給については、現在開発中の大型鉱山の稼働が2013年までないことから、供給不足になることが予想されている。ICSG（国際銅研究会）によると、2011年の世界需給は45万トン程度の供給不足になりそう。

### 3. 為替の見通し

日本の政治、経済の現状は決して良いものではないが、米国や欧州諸国が悪すぎるために、相対的に良いとされ、資金の避難先として円が選好され、ここまで円高が進んできている。

米国経済の回復は思いのほか遅れている。オバマ政権は「5年で輸出倍増、200万人雇用創出」の御旗を掲げてはいるが、多少は改善傾向にあるものの依然として失業率は高く、個人消費が低迷している。米国のドル総量の緩和策により、昨年末にはインフレ期待が高まり、一時的にドルが下落した。しかしながら、いまのところ米国内の量的緩和策の影響は限定的であり、自国の景気を押し上げるほどの効き目は現れていない。一方、ユーロに関しては、ドル安に対してユーロ高傾向になるものとの期待があったが、アイルランド国債の格下げやスペイン、ギリシャなどの財政赤字問題が周縁国へ広がり、ユーロが大きく売られている。

南北朝鮮問題、対中国政策、国内政治の混迷など日本経済を取り巻く内外の状況は混沌としているが、直ぐには円安に傾くことはない。投機的に円が買われているためと思われる。但し、円高のピークは打ったものと思われるので、これからは徐々に円安に振れるものと思われる。

### 4. 相場の見通しと今後

銅価のここまでの上昇は、需給がタイトというだけでなく、投機資金がかなり流入してると思われる。例年、中国の旧正月（今年は2月3日から）休みが明けると大きく相場が動く可能性がある。投機筋の状況によっては、今後かなり乱高下する可能性があるが、向こう3ヶ月単位で見ると高値で推移すると予想する。

記者 田中

短期予想（1M）LME \$9,200-10,000 為替 81~84円

銅建値 820-880円/kg

長期予想（3M）LME \$8,800-11,000 為替 81~87円

銅建値 800-970円/kg

